



下高井戸駅周辺地区
第1回 街づくり懇談会

世田谷区・杉並区

令和5年6月27日(火)

1

懇談会の進行についての注意事項

- ① 携帯電話は、マナーモードに設定をお願いいたします。
- ② 開催状況の記録のために、録音、写真撮影を行います。
取り扱いには十分注意をいたします。
- ③ 会場内は、撮影禁止とはいたしません
皆さんが撮影された写真につきましても、
取り扱いには、ご配慮をお願いいたします。

本日の資料

- ① 次第
- ② スクリーンに投影する資料
- ③ しもたかブック
- ④ 地区街づくり計画（世田谷区）
- ⑤ まちづくり方針（杉並区）
- ⑥ アンケート調査結果のご報告
- ⑦ 意見交換用資料
- ⑧ 街づくり懇談会に関するアンケート



しもたかブック



アンケート調査結果のご報告

世田谷区

北沢総合支所 街づくり課



課長 ^{いちつぼ} 一坪 博



係長 鈴木 典康



担当 川井 浩司



担当 井上 将治

杉並区

都市整備部 市街地整備課



課長 塚田 千賀子



係長 朝比奈 崇



担当 門脇 千聡



担当 樋本 英哉

アドバイザー

^{あいば} 東京大学教授 饗庭 伸 先生

コンサルタント

株式会社 デザインステージ
鈴木 立也 <街づくり専門家>

奥村 玄 足立 大輔

松尾 初美 大木 一

開会あいさつ

世田谷区

北沢総合支所 街づくり課

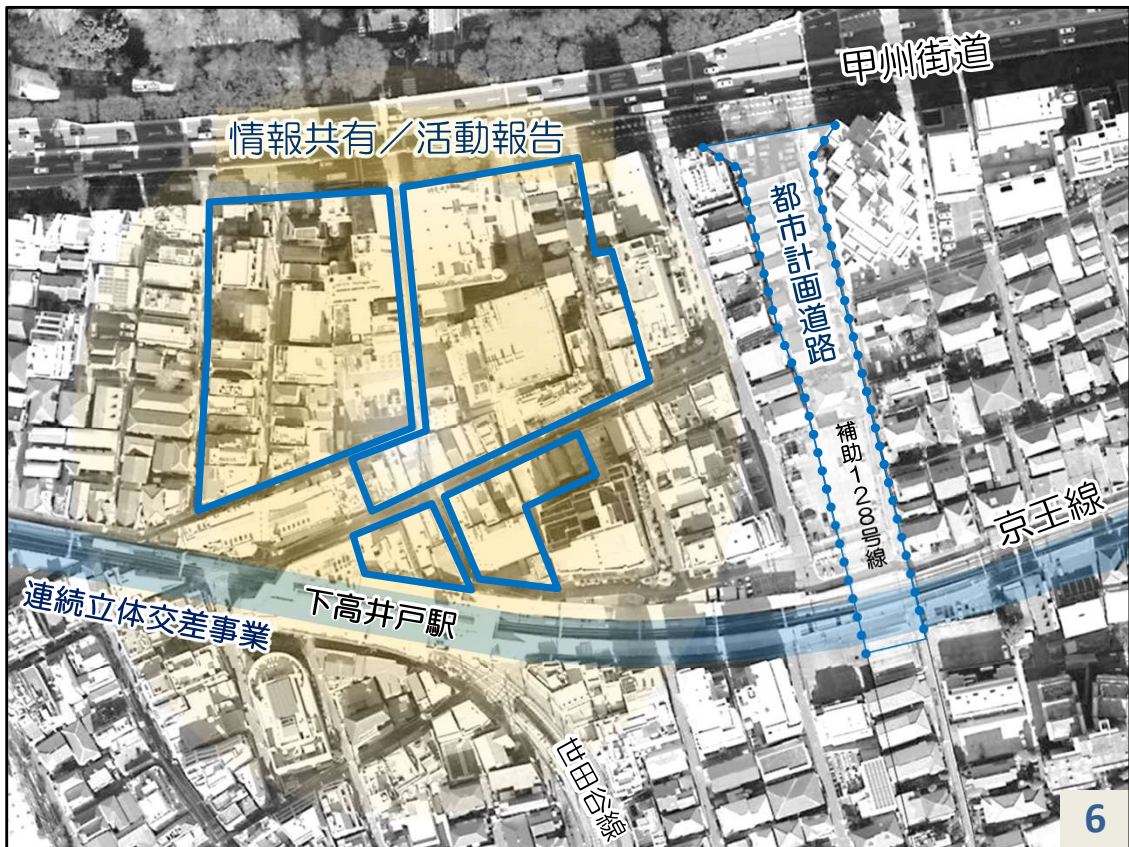
課長 一坪 博

いちつぼ

5

(世田谷区 課長挨拶)

今回の懇談会には50名ほど参加されています。他の地区の懇談会では20～30名ほどの参加者であることが多いので、下高井戸は街づくりに対する意識が高い地域だと思います。



まず、下高井戸の街づくりについて振り返ります。

街づくりの動きとしては、連続立体交差事業で京王線の高架化が進められています。

高架化に伴い街が変化していくので、以前より駅の北側の4つの街区で共同建替えの勉強会が進められています。

また、先日、下高井戸駅東側の京王線北側の範囲では、都市計画道路補助128号線の事業化に向け、世田谷区が道路の用地測量説明会を開催しました。

情報共有



意見交換

街づくりの検討



オープンハウス

(パネル・模型等/対話型の展示)

7

このような街づくりの動きのなか、駅の北側では街づくりの検討を進めており、情報共有や意見交換をこれまで十数回行っています。

そして地域の方への情報発信のため、街づくり協議会の方々や区の職員と街づくりについて話し合うことができるオープンハウスという活動報告会を9回行っています。

(このような街づくりの会に出たことがある方を挙手により確認)

街づくりの会に出たことがない方が結構いらっしゃいますが、出たことがある方と街づくりの情報量にだいぶ差があります。

出たことがある方は出たことがない方にお話できる部分もあると思いますので、ご協力いただければと思います。



街づくりには色々なルールがあり、下高井戸にもいくつかルールがあります。

「しもたかブック」は世田谷区、杉並区ともにルールの中で一番法的拘束力の弱い「区民街づくり協定（世田谷区）」、「まちづくりルール（杉並区）」に登録されており、様々な地域の想いが入っています。

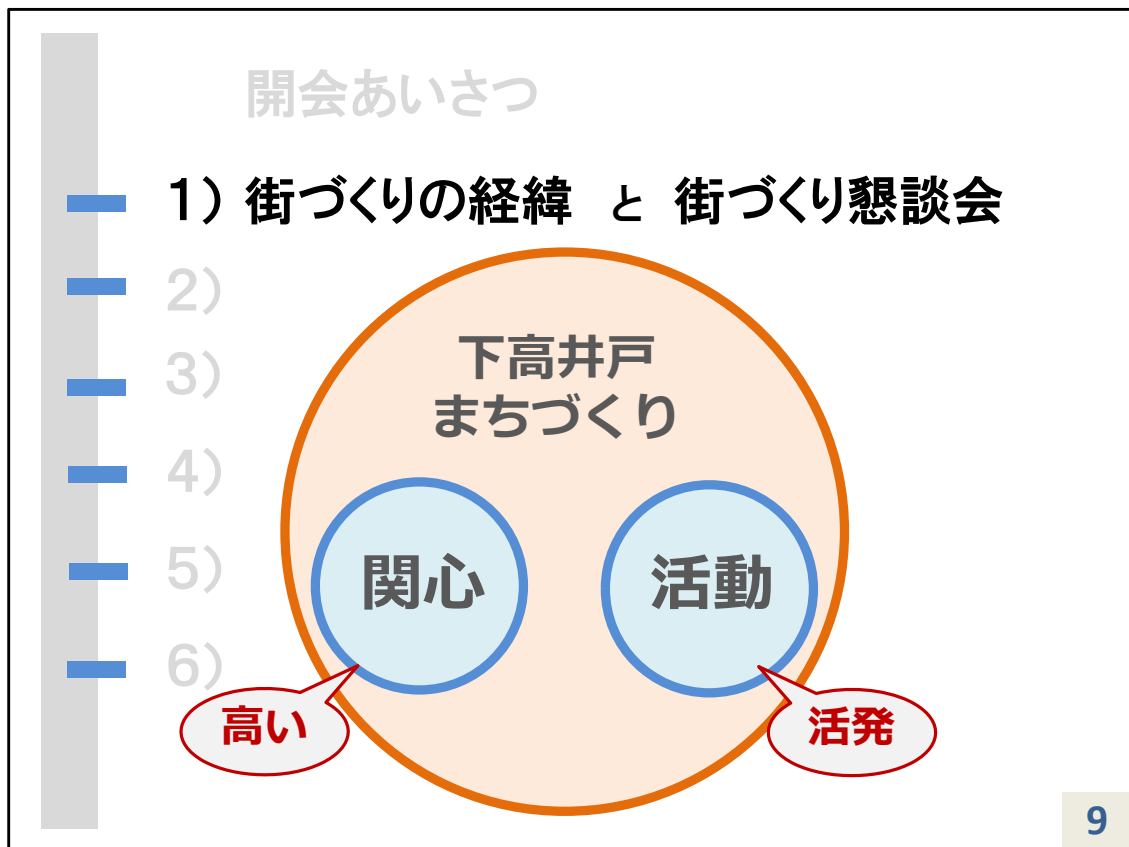
平成25年度に世田谷区が「地区街づくり計画」を、杉並区が「まちづくり方針」をつくりました。

本日は、さらに法的拘束力の強い「地区計画」を皆さんと勉強しながら、街の将来像について意見交換する会です。

難しい内容も多いかと思いますが、これから地区計画の説明をします。

分からないことはメモしていただきグループで共有し、地区計画という街づくりのルールについて、遠慮せずに率直な意見交換をしていただければと思います。

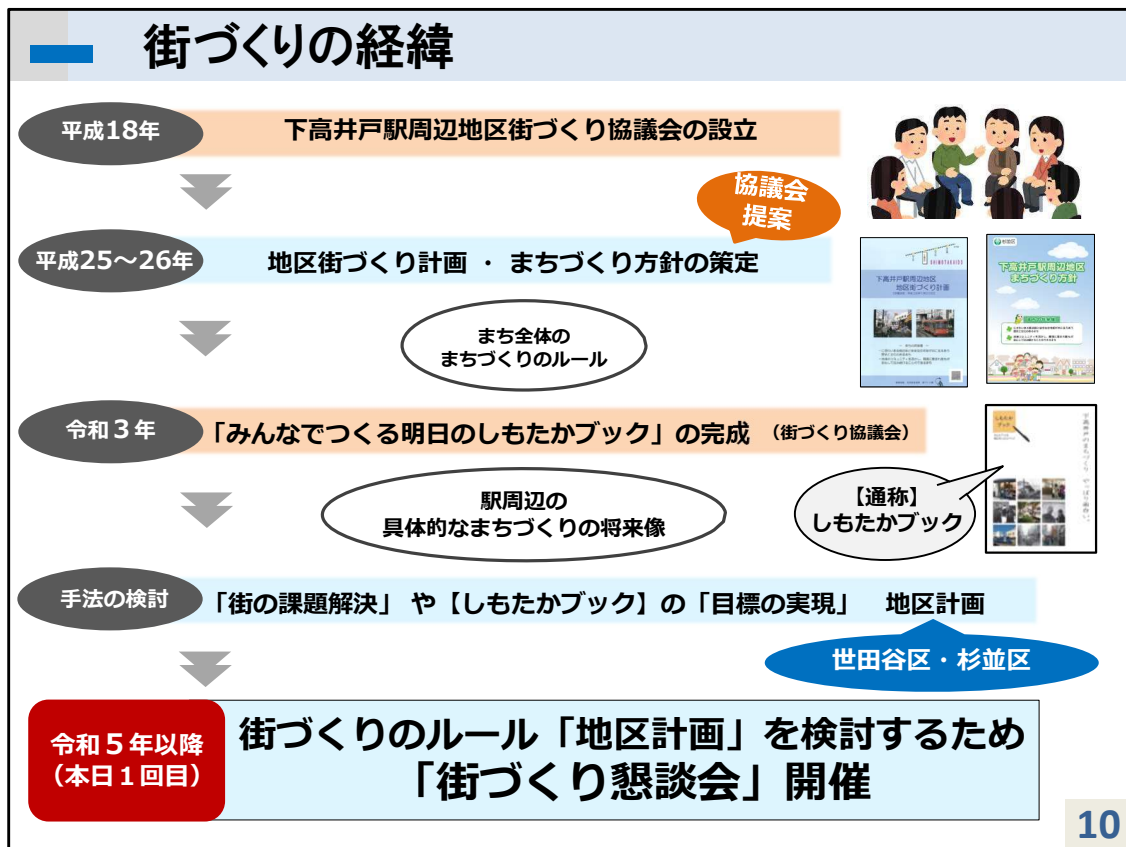
本日はよろしく願いいたします。



(司会)

1) 街づくりの経緯と街づくり懇談会について説明します。

「街づくりの経緯」を説明し、その後に、本日開催している「街づくり懇談会の目的」を共有させていただきます。



街づくりの経緯ですが、平成18年に、京王連立事業を契機に「街づくり協議会」が設立されました。この街づくり協議会は、自主的に街づくりの活動を行うことを目的とした組織です。

街づくり協議会から提案をいただき、平成25年に杉並区では「まちづくり方針」、平成26年に世田谷区では「地区街づくり計画」を策定し、「まち全体の街づくりのルール」を定めました。

令和3年には、「みんなでつくる明日のしもたかブック」が完成しました。街づくり協議会が、地域の意見を参考に駅周辺の具体的な街の将来像をまとめたものになります。通称「しもたかブック」と呼んでいます。

世田谷区と杉並区では、街の課題解決や「しもたかブック」の目標を実現するため、手法の検討を行い、地区計画の検討をはじめました。

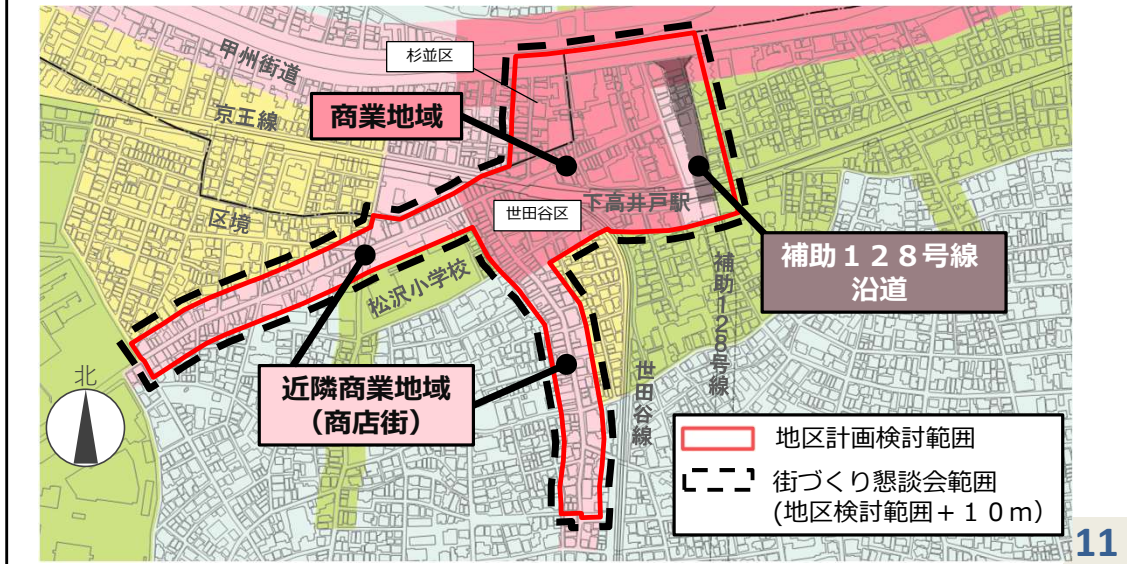
今年度は街づくりのルール「地区計画」を検討するため、「皆さんと意見交換」を行うための「街づくり懇談会」を実施します。

街づくり懇談会

街づくり懇談会の範囲

下高井戸駅周辺の**商業系の用途地域**及び**都市計画道路補助128号線の沿道から20m**と、周囲への影響範囲として**10m**を加えた範囲です。

この範囲にお住まいの方及び土地や建物を所有する方などに、お知らせしています。



「街づくり懇談会の範囲」を説明します。

範囲は、下高井戸駅周辺の「商業地域と近隣商業地域」と都市計画道路補助128号線の沿道から20mの赤の範囲と周囲への影響範囲として10mを加えた黒の点線で囲われた範囲となります。

この範囲にお住まいの方や土地や建物を所有する方などに、本日のお知らせを配布し、懇談会を開催しています。

街づくり懇談会

街づくり懇談会とは？

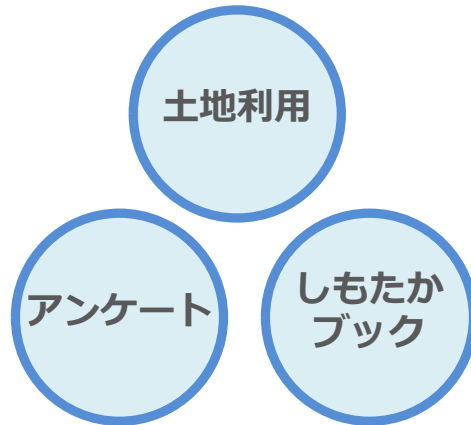
地域の皆様と街の現状、課題、将来像を共有しながら、将来像の実現に向けて必要な街づくりのルール「地区計画」を検討するための会です。



「街づくり懇談会」とは皆さんと「街の現状を把握」し、「街の課題解決」や「街の将来像」の実現について意見交換を行い、その実現に向けて、街づくりのルール「地区計画」を検討するための会です。

閉会あいさつ

- 1) 街づくりの経緯と街づくり懇談会
- 2) 街の現状、課題、将来像
- 3)
- 4)
- 5)
- 6)



13

「土地利用の現状」や昨年実施した「アンケート調査結果」、
「しもたかブック」から見えてきた、「街の課題」や「街の将来
像」について、共有したいと思います。

街の現状、課題(土地利用現況調査)

昭和55年度以前の
建物が3割程度



6m未満の道路が多い



防災面の課題

14

街の現状や課題を知るために、土地利用の状況を調査し、重要な部分をまとめました。

駅周辺では、昭和55年度以前の古い基準で建てられた建物が3割程度残っており、6m未満の道路も多く、「防災面の課題」があることがわかりました。

街の現状、課題(土地利用現況調査)

容積の利用割合
50%未満が多い



3階以下の建物
7割以上



土地を有効に活用できていない

15

建物のボリュームを示す容積の利用割合が50%未満の敷地が多く、3階建て以下の建物が7割以上あり、「土地の有効活用ができていない」ことも分かりました。

街の現状、課題 (R4年アンケート調査)

問 下高井戸駅周辺の現状について (日頃感じているまちの印象)

(1) 快適性・利便性について

不満度が高い (街の課題)

■満足 ■やや満足 ■やや不満 ■不満 ■わからない

1. 樹木等のみどり



2. ベンチ等のくつろげる場所



※上記は自由意見で頂いた「主な意見をキーワード」にまとめたものです。

樹木等のみどりの創出やベンチ等の休憩スペースの確保を求める声が多い

16

昨年度は、皆様のご意見を伺うためにアンケート調査を行いました。

こちらはアンケート結果から街の課題を整理したもので、丸の中の文字は、自由意見で多かった意見をキーワードにまとめたものです。

駅周辺の「みどり」や「ベンチ等のくつろげる場所」が少ないと6割以上の方が、不満を感じていることがわかりました。

いただいた主な意見では、緑化を義務化してほしい、緑が多いと街のイメージがよくなる、休憩できるベンチなどが少ないなどの意見をいただきました。

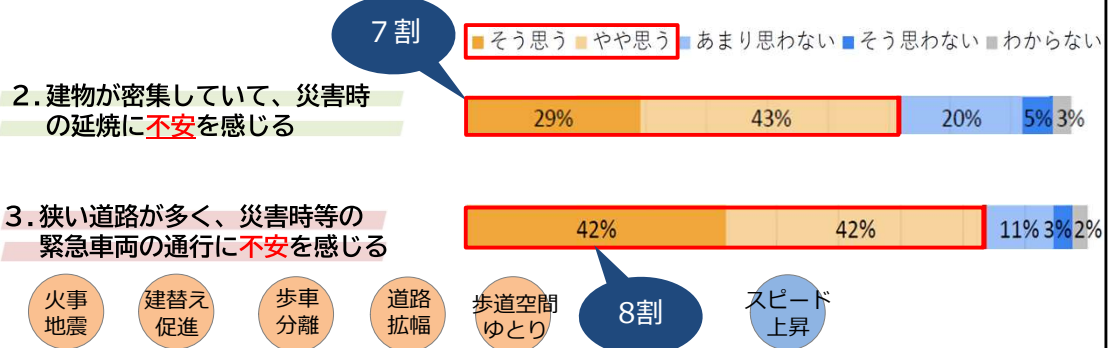
一方で、管理の問題を心配される声もいただいておりますので議論が必要だと思えます。

街の現状、課題 (R4年アンケート調査)

問 下高井戸駅周辺の現状について (日頃感じているまちの印象)

(3) 防災性について

不安を感じる (街の課題)



※上記は自由意見で頂いた「主な意見をキーワード」にまとめたものです。

防災性や安全な通行に不安を感じる方が多い

17

防災性についてです。

災害時の延焼や緊急車両の通行など「防災性や安全な通行」に7割以上の方が、不安を感じていることが分かりました。

いただいた主な意見では、火事や地震が不安なので、建替えを促進してほしい、車とのすれ違い時の安全性を確保してほしいなどの意見がありました。

一方で、「道路が広くなると車がスピードを出すのでは」と心配の声もありました。

街の将来像

街の将来像とは？

将来「**こういう街になったらいいな**」という地域の目標や方針



にぎわいのある商店街

安全な住宅街

共に支えあう
歴史と文化のあるまち

地域のコミュニティ

誰もが安心して
住み続けられるまち

18

街の将来像についてです。

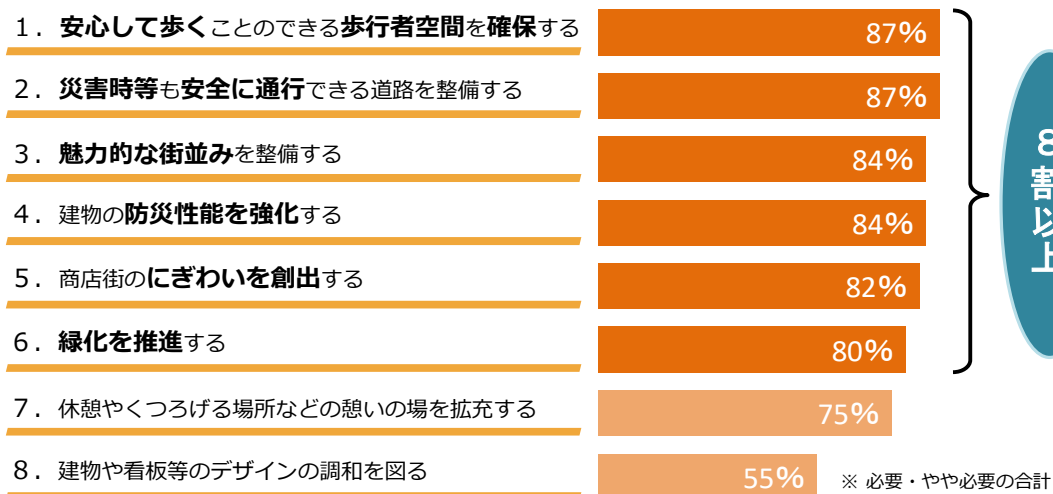
街の将来像とは、将来「こういった街になったらいいな」という地域の目標や方針です。

街づくり協議会から提案を受け、平成25年度に定めた「将来像」として「にぎわいのある商店街」や「誰もが安心して住み続けられるまち」などがあります。

今回は、商業系の地域や都市計画道路沿道の地区計画の検討になりますが、皆さんと議論を重ねて「街の将来像」を決めていきたいと思えます。

街の将来像(R4年アンケート調査)

今後のまちづくり（地区計画）で取り組むべき項目



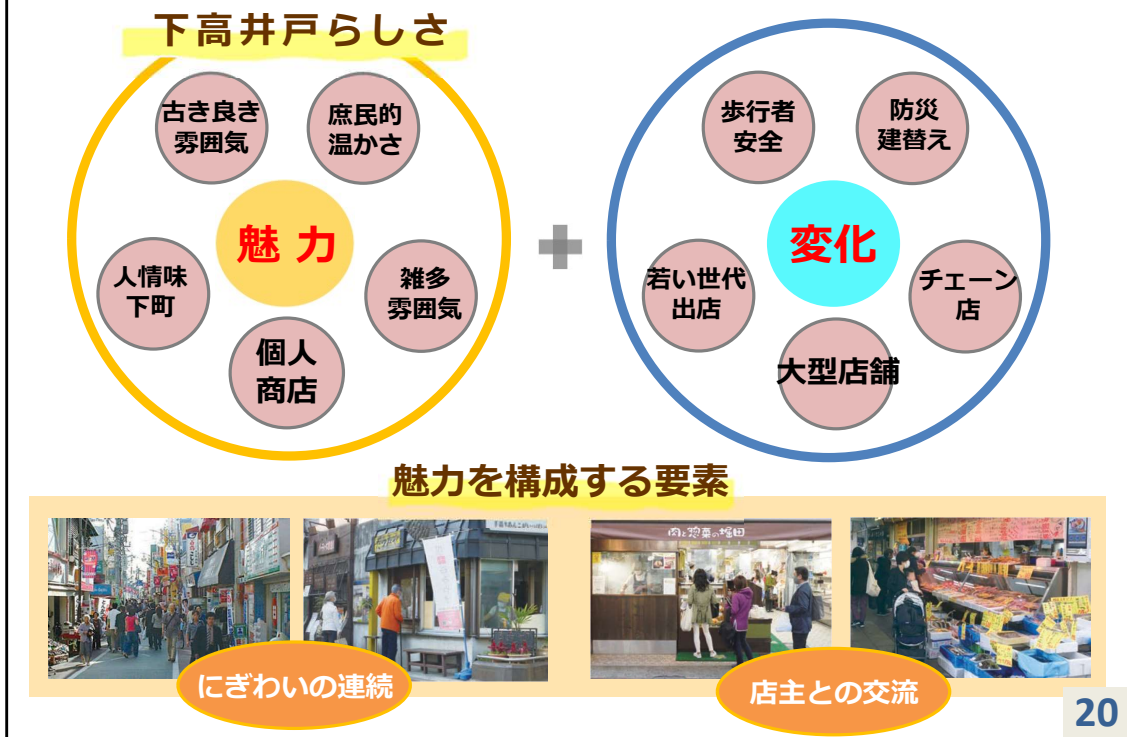
19

アンケート調査の回答結果をまとめたものです。

地区計画で取り組むべき項目で、8割以上の方が取り組む必要があると回答したものは、安心して歩くことができる歩行者空間の確保、災害時の安全な通行、魅力的な街並み、防災性能の強化、賑わいの創出、緑化の推進でした。

これらの項目を実現するために、取り組んでいきたいと思います。

街の将来像(R4年アンケート調査)



こちらはアンケートの自由意見でいただいた多くのご意見をまとめたものです。

下高井戸らしさでは、「庶民的な温かさ」や「個人商店との交流」、「雑多な雰囲気」を残してほしいという意見などが多くありました。

一方で、建替えによる防災性の向上、若い世代を中心に大型店舗を求める声など変化を求める意見も多くありました。

下高井戸らしさの「魅力を構成する要素」である、「にぎわいの連続」や「店主との交流」を残しつつも街の変化についても考えていく必要があると思います。

アンケート調査から見えてくる将来像は以上となります。

街の将来像(しもたかブック)



下高井戸のまちづくり
やっぱり面白い。

しもたかブックとは？

地元街づくり協議会が中心となり、
地域の方々の様々な意見を参考に
下高井戸の街の魅力や課題、街の
将来像などをまとめたものです。

21

しもたかブックについて説明します。

しもたかブックは、地元街づくり協議会が中心となり、地域の方々の様々な意見を参考に下高井戸の街の魅力や課題、街の将来像などをまとめたものです。

街の将来像(しもたかブック)

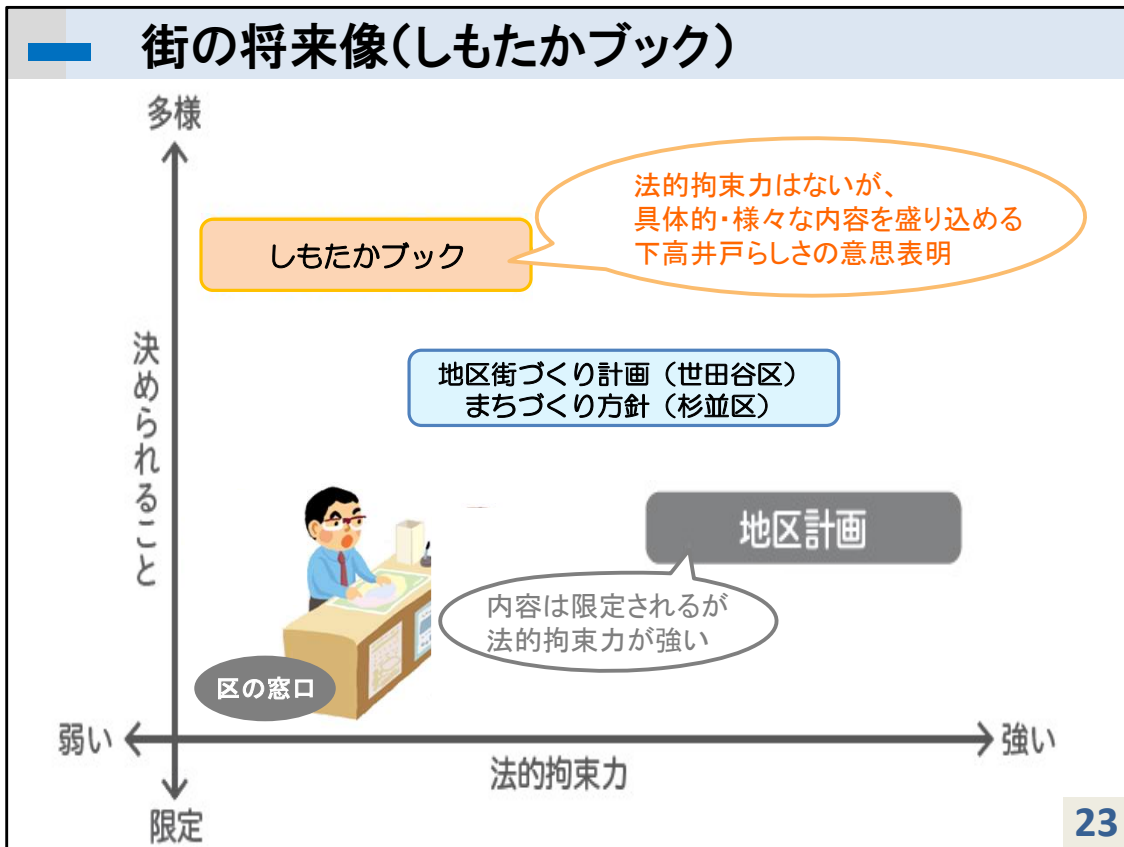
下高井戸駅周辺地区街づくり協議会より
「しもたかブック」の説明

下高井戸駅周辺地区街づくり協議会

副会長 あさお 旦尾 まもる 衛

22

詳細は「しもたかブック」を作成した街づくり協議会を代表して、副会長の旦尾さんに説明いただきます。



(街づくり協議会 副会長)

街づくり協議会の旦尾です。

「しもたかブック」について説明します。

「しもたかブック」は各区の条例で定めた計画や方針などのルールと違い、法的拘束力はありませんが、ワークショップやオープンハウスなどを協議会主催で開催し、地域の方々の様々な意見を聞き、その意見を参考に街の魅力や課題、具体的な街づくりの将来像などをまとめたものです。

街の将来像(しもたかブック)

まちづくりの基本理念・目標

基本理念 まちの情緒やつながりを大切にして、暮らしやすい未来を創る

先代から、ひいては江戸の宿場町時代から続くまちの特色を失わず、これからの時代に適したまちづくりを進める。



24

「しもたかブック」でまとめた下高井戸のまちづくりの理念は「まちの情緒やつながりを大切にして、暮らしやすい未来を創る」ことです。

3つの目標を立てています。

その1：商店街のあちこちでふれあいが生まれるまち、

その2：街と人、人と人のつながりを育むまち、

その3：防災力が高く、多彩な活動が生まれるまちです。

街の将来像(しもたかブック)

方向性

商店街周辺を歩行者に優しい場所にする

現状

- ・商店街を通過する自転車が多い
- ・狭い道路を自動車が通過している
- ・電柱が歩道を狭くし、視線を遮っている
- ・看板やサインの視認性がよくない

ねらい

- ・歩車分離し、駅を中心に歩行者優先の場所にする
- ・歩行者空間を快適にする
- ・初めて来た人にも分かりやすい案内や街並みとする

方向性

会話や交流を促す店構えを工夫する

ふれあいを大切にする



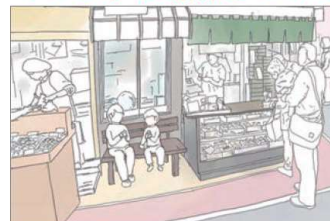
店主とやりとりしやすい店の造りとし、店の賑わいが通りに伝わるようにする

賑わいを連続させる



大きな建物に入る店舗も閉じた店の造りではなく、通りに開いた造りとする

くつろげる場所をつくる



休憩できる場所や落ち着いて話せる場所などを、店先や通りに散りばめる

方向性

安全安心な基盤を整える

25

区で検討している地区計画により、例えば「しもたかブック」に示している「商店街周辺が歩行者に優しい場所にする」ことや、「くつろげる場所をつくる」、「安全安心な基盤を整える」ことなどの実現により、よりよい街になることを期待しております。

地区計画により、「しもたかブック」で示した街の将来像を実現するためのルールを定めることができれば、街づくりの大きな一歩となると思いますのでぜひ皆さんで議論をしていきましょう。

以上となります。

閉会あいさつ

- 1) 街づくりの経緯と街づくり懇談会
- 2) 街の現状、課題、将来像
- **3) 地区計画**
- 4) 街づくりアドバイザーより
- 5) 意見交換
- 6) 今後のスケジュール

閉会あいさつ

26

(司会)

次は、「地区計画」について説明をいたします。

地区計画

地区計画とは

都市計画法に基づく制度で区が策定します。地区の目標や方針を実現するために、建築物の用途や形態等の制限を定めます。

< 地区計画に定めるルール例 >

屋根や外壁の色彩のルールを定める



建築物の高さの最高限度を定める

建築物の位置を定める

垣や柵の作り方、緑化などについてルールを定める

建築物の用途の制限を定める

※建替え等を行う際のルールであり、すぐにルールに合わせた建物にする必要はありません。

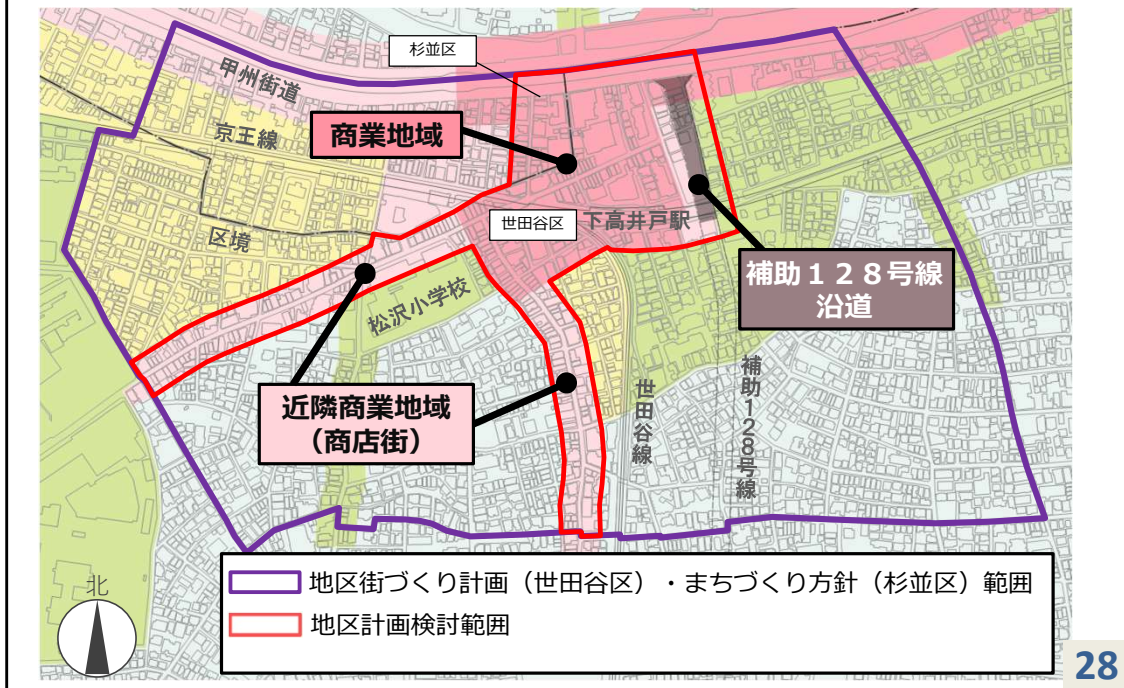
地区計画は、都市計画法に基づく制度で区がルールを決めていきます。

地域の特徴に合わせて、建物の高さや位置、建物の使い方をきめる用途などの制限も定めることができます。

制限内容が強いため、決められることは限られますが、重要なルールとなっています。

地区計画

地区計画の範囲 → 今あるルールを補完する



28

次に、「地区計画の検討範囲」について説明します。

検討範囲は、今ある「街づくり計画」と「まちづくり方針」の範囲の中で、今あるルールを補うために駅周辺の商業地域、近隣商業地域、補助128号線の沿道20mの赤で囲われた範囲となります。

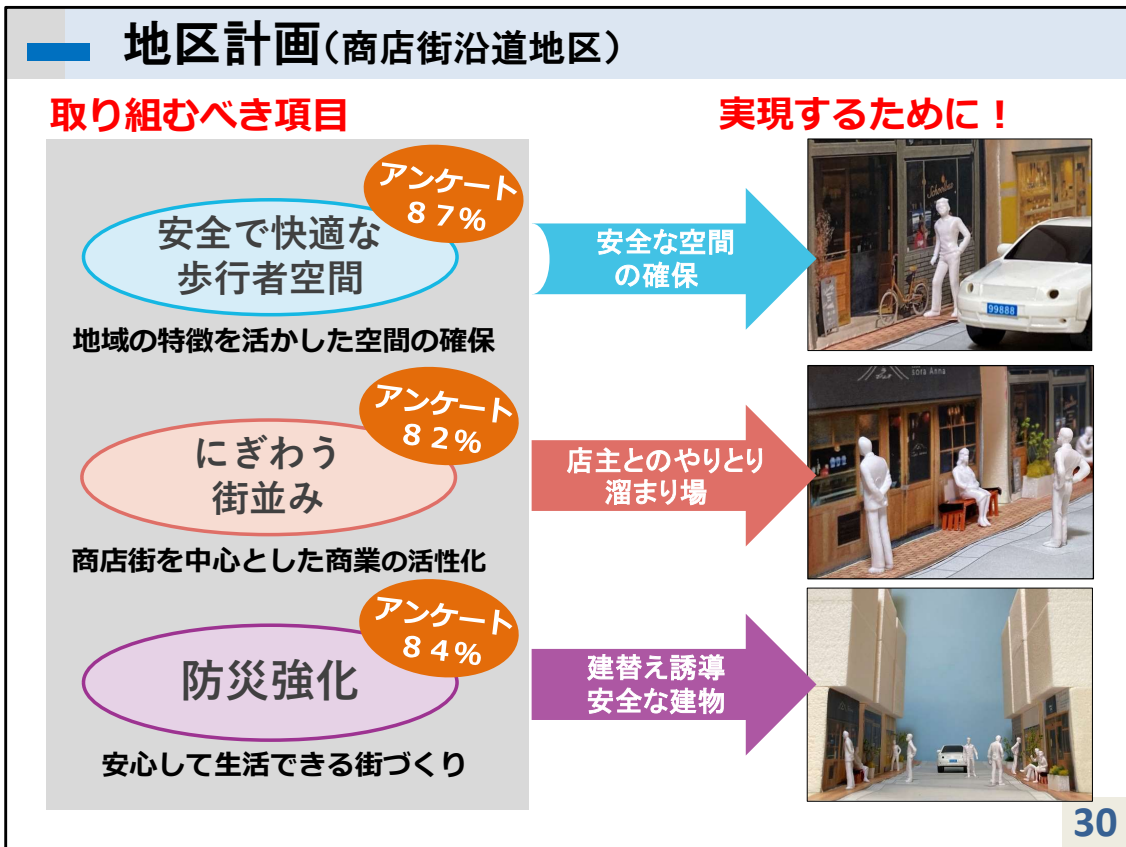
地区計画

地区ごとの考え方



地区ごとの考え方ですが、地区計画の検討範囲の中でも、商店街のにぎわいを目指す「商店街沿道地区」と「補助128号線沿道地区」は、地区の特性が大きく異なりますので、分けて検討していきたいと思います。

まずは、商店街などを中心とした「商店街沿道地区」を説明します。



商店街沿道地区について説明します。

取り組むべき内容は、「街の課題」や「アンケート結果」、「しもたかブック」から、「安全で快適な歩行者空間」の確保や「にぎわう街並みの創出」、「防災性の強化」などについて、取り組む必要があると考えています。

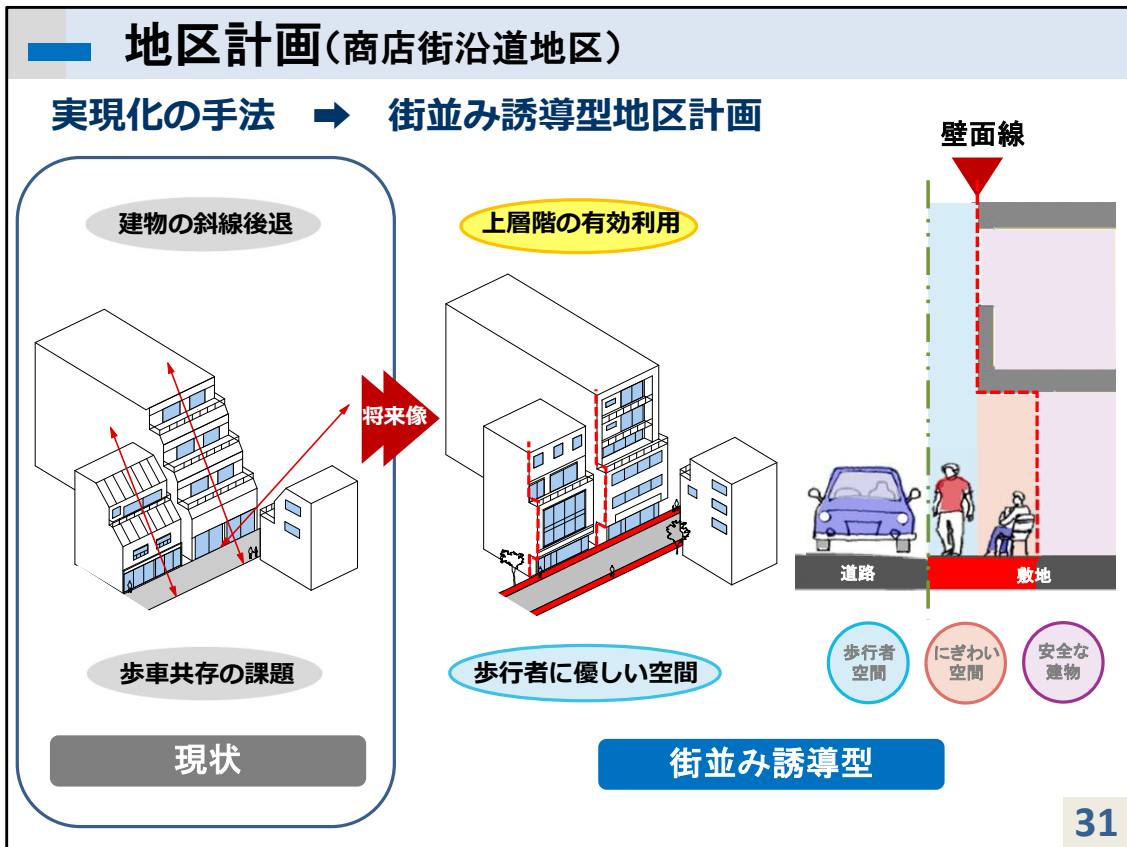
これらを実現するために、何が必要かを考えてみます。

まず、「安全で快適な歩行者空間の確保」については、車や自転車が通らない「安全な空間の確保」が必要になります。

次に、「にぎわう街並み」については、「店主とのやり取りのできる溜まり場」など、会話や交流が生まれるような空間の確保です。

最後に「防災強化」については、建替えを誘導し、安全な建物の街並みにすることです。

これらを実現する効果的な手法が、「街並み誘導型地区計画」になりますので、紹介をしていきます。



左側の図が現状で、真ん中の図が街並み誘導型を取り入れた街並みとなります。

街並み誘導型の魅力的なところは、皆さんが協力することで将来像を実現できることです。

真ん中の図の赤い部分は、道路から建物を離してつくることのできる空間になります。この部分を活用することにより、「歩行者に優しい空間」づくりが可能になります。

道路斜線がなくなるため「建物をまっすぐ建てられ、上層階の有効利用ができる」メリットもあります。

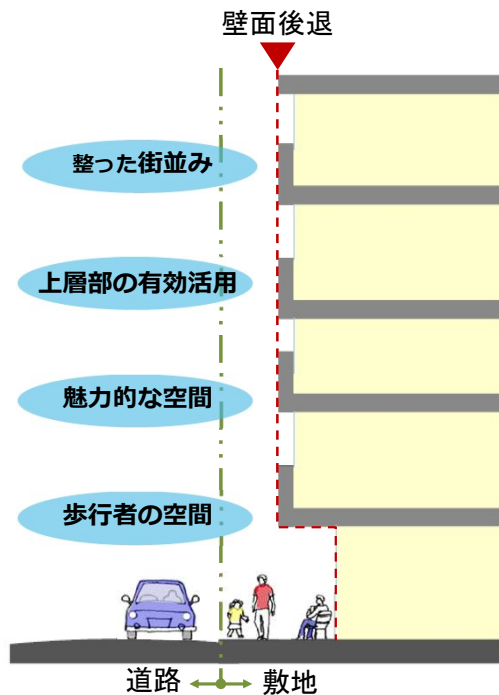
右側の図の赤い部分が後退した部分になります。

水色の部分を「歩行者空間」として「安全な通行スペース」に、「オレンジ色の部分」を「にぎわい空間」として、「店主とやり取りの溜まり場」や「会話や交流」が生まれるように、「可動式のベンチや植栽」がおけるように調整していきたいと考えています。

そして、「防災性の強化」として建物の建て替えにより、建物が安全な構造となるため、「まち全体の防災性の強化」につながるものになります。

地区計画(商店街沿道地区)

街並み誘導型地区計画



【下北沢の事例】

32

事例を紹介します。

右の写真が街並み誘導型地区計画をとりいれている「下北沢」になります。

左の図のように、壁面後退の線を定めて、道路から建物を後退して作ることによって、「安全な通行のための歩行者空間の確保」や「1階部分を広めに後退」し、植栽などを設けることで、魅力的な街並みを創り出しています。

地区計画(商店街沿道地区)

街並み誘導型地区計画 (イメージ模型)

安全で快適な歩行者空間



車とのすれ違い時の安全

にぎわう街並み



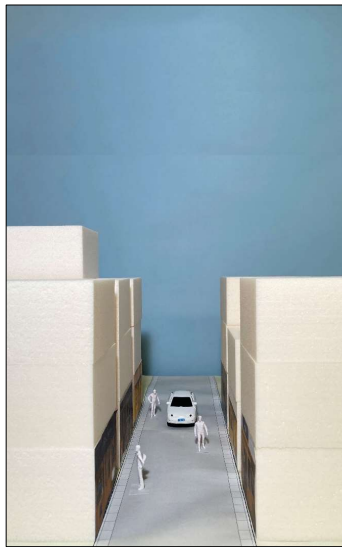
店主との会話を楽しむ

33

こちらはイメージ模型ですが、左の図のように「車とのすれ違い時に安全を確保するスペース」や右の図のように「店主との会話」を「安全に楽しめるスペース」として有効なスペースになると考えています。

地区計画(商店街沿道地区)

街並み誘導型地区計画 (イメージ模型)



現状



上部の圧迫感



- ・上部の後退 → 圧迫感軽減
- ・1階をさらに後退
→ 会話や交流の場所へ

34

まちのボリュームを見ていきます。

左の模型は、現状で3, 4階くらいの建物が立ち並んでいます。

街並み誘導型を取り入れると、真ん中と右のような街並みになります。

街並み誘導型は、皆さんで協力して、道路から建物を下げて建物を建てることにより有効なスペースをつくりだすものになります。

道路から建物を下げて建てることにより、道路斜線がなくなり、建物がまっすぐに高く建てられるようになります。

しかし、真ん中の模型のように圧迫感も感じるようになります。

そこで圧迫感を軽減し、現状と同じくらいの高さに感じられるようにするため、右の模型のように上部を下げるということについても今後、意見交換を行っていきたいと思います。

また、1階部分を少し多めに下げることで、「店主とのやり取りのできる溜まり場」など会話や交流が生まれるような空間として活用できれば、まちの将来像に近づくと考えています。

ベンチや植栽の設置についても検討していきます。

街並み誘導型地区計画の説明は以上となります。

地区計画

地区ごとの考え方

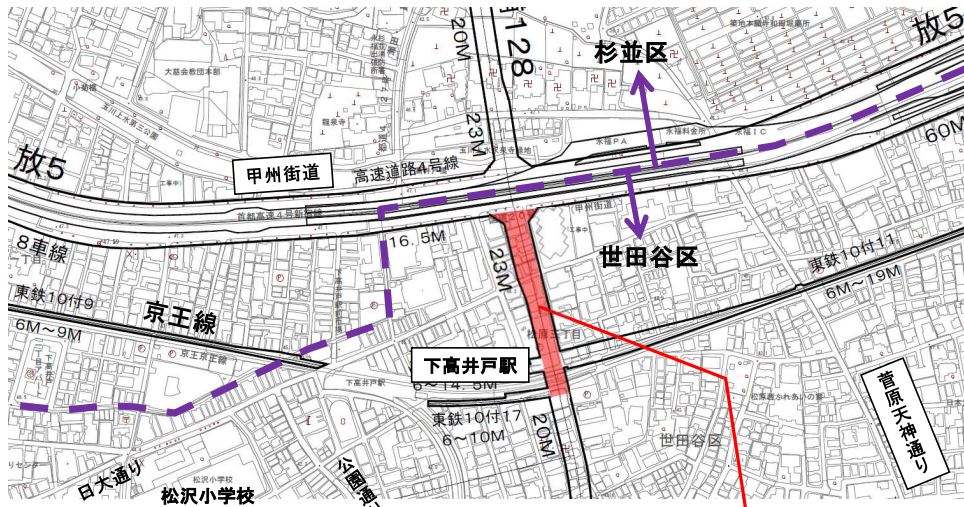


35

補助128号線沿道地区について説明します。

地区計画(補助128号線沿道地区)

事業概要



名 称	都市計画道路補助128号線 (松原 3 丁目)
延 長	約 1 7 0 m
計 画 幅 員	2 0 m ~ 2 3 m
事 業 者	世田谷区

優先整備路線
(区施工)

36

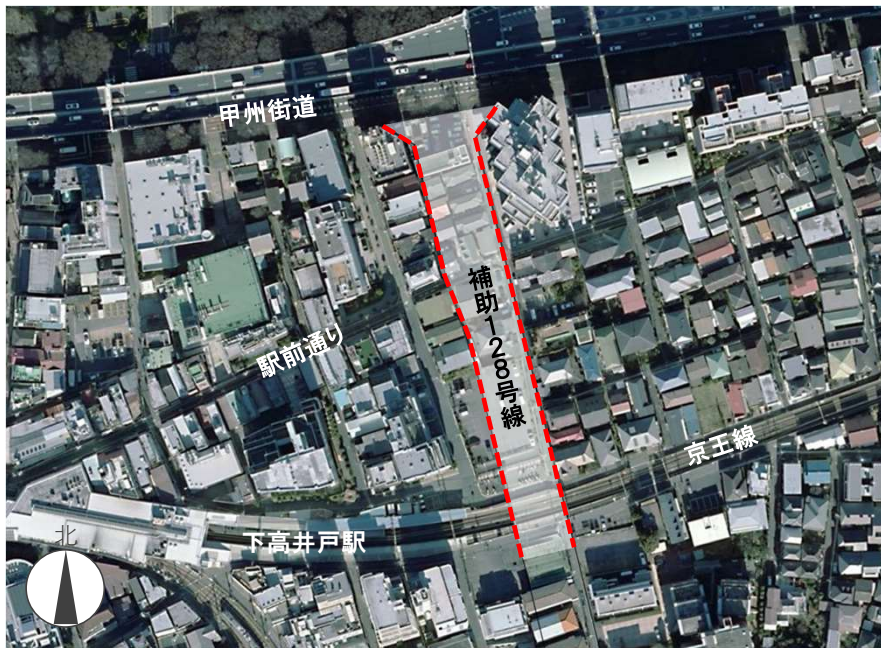
まず初めに事業概要を簡単に説明します。

補助 1 2 8 号線は、赤い部分が現在優先的に道路に整備していく優先整備路線に指定されております。

延長は、甲州街道から京王線までの約 1 7 0 m の区間で、幅員は 2 0 m ~ 2 3 m となります。

現在、事業化に向けて担当部署が取り組んでいます。

地区計画(補助128号線沿道地区)



37

こちらは補助128号線沿道付近の航空写真です。

地区計画(補助128号線沿道地区)

補助128号線沿道地区での街づくりの必要性とは？



38

補助128号線沿道の街づくりの必要性ですが、新しい広い道路ができると、沿道の街並みが変わることが予想されます。

そのため、沿道の街並みの「将来像を考える」ことで、魅力的な街並みに誘導することができると思っています。

地区計画(補助128号線沿道地区)

補助128号線沿道の街並み

- 周辺の住環境との調和
- 幹線道路の沿道としてふさわしい街並みの形成



沿道地区の事例 補助26号線(世田谷区北沢5丁目付近)

39

補助128号線の広い道路の沿道の街並みについては、周辺の住宅地との調和を図りながら、幹線道路の沿道としてふさわしい街並みとなるように誘導することが必要です。

こちらの写真は、補助26号線、世田谷区北沢5丁目付近の沿道の様子です。

道路幅が同じくらい幅になるので、イメージの参考に紹介いたしました。

今後、沿道にふさわしい街並みとなるように建物の用途などについても、意見交換を進めたいと思います。

区からの説明は以上となります。

閉会あいさつ

- 1) 街づくりの経緯と街づくり懇談会
- 2) 街の現状、課題、将来像
- 3) 地区計画
- **4) 街づくりアドバイザーより**
- 5) 意見交換
- 6) 今後のスケジュール

閉会あいさつ

40

それでは、街づくりアドバイザーの饗庭（あいば）先生から一言
いただきたいと思います。

街づくりアドバイザー



東京都立大学 都市環境学部
都市政策科学科 教授

あいば
饗庭 伸 先生

国土交通省都市計画基本問題小委員会委員
世田谷区都市計画審議会委員
中央区都市計画審議会委員
府中市都市計画審議会委員
所沢市都市計画審議会委員
三鷹市景観審議会委員
大和市街づくり推進会議委員長 など歴任

○専門分野

都市の計画とデザイン、そのための市民参加手法等について研究を行っている。

○専門家実績

世田谷区明大前駅周辺地区、中央区晴海地区、日野市、岩手県大船渡市、山形県鶴岡市など

41

(饗庭教授)

地区計画の説明のスライドが次々と出てきて、情報量が多かったのではないかと思います。

これから、少人数で話し合えるようにグループに分けて意見交換を行います。

街づくりの情報量が多い方は少ない方と共有していただき、たくさん話し合いをしていただければと思います。

話し合いのポイントについてお話します。地区計画は、皆さまがお持ちの土地や建物の建て方に関わってきます。

現在建っているものについては関係ないですが、新しいルールをつくった後、皆さまの建物を建て替える時に地区計画のルールに関わってきます。

土地の大きさや形、立地、それぞれ状況が違いますので、皆さまご自身が損をしてしまったと思われるルールづくりが一番の失敗だと思っています。本日は、ご自身の土地や建物のことを念頭においてお話していただけると良いと思います。

「しもたかブック」は良くまとまっていると思います。

「しもたかブック」に書いてあることを実現するため、でもご自身の土地や建物も大事ですので、両方の視点でお話していただければと思います。

閉会あいさつ

- 1) 街づくりの経緯と街づくり懇談会
- 2) 街の現状、課題、将来像
- 3) 地区計画
- 4) 街づくりアドバイザーより
- **5) 意見交換**
- 6) 今後のスケジュール

閉会あいさつ

42

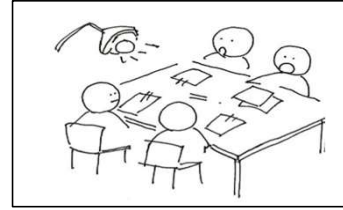
(司会)

それでは、これより意見交換を行います。

意見交換

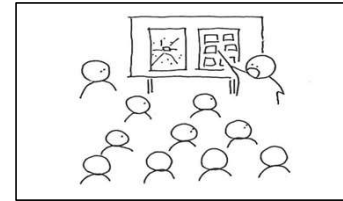
① 各テーブルで意見交換

各テーブルにいるコンサルタントや職員が皆様の意見や疑問、街づくりの方向性について聞かせていただきます。
気軽に発言いただければと思います。



② 各テーブルの意見を全体で共有

各テーブルで出た意見や思いをコンサルタントがまとめ、全体で共有させていただきます。



43

意見交換を始める前に、意見交換の進め方を説明させていただきます。

少しでも多くの意見をお聞きするために、各テーブルごとに意見交換を行います。各テーブルに「コンサルタント」と「区の職員」がおりますのでご気軽に発言いただければと思います。

各テーブルの意見などを「コンサルタント」がまとめて発表し、最後に全体で共有していきます。

それでは、意見交換を始めてください。

閉会あいさつ

- 1) 街づくりの経緯と街づくり懇談会
- 2) 街の現状、課題、将来像
- 3) 地区計画
- 4) 街づくりアドバイザーより
- 5) 意見交換
- **6) 今後のスケジュール**

閉会あいさつ

44

今後のスケジュールについて、ご案内いたします。

今後のスケジュール

令和5年度の街づくり懇談会の進め方イメージ

第1回

(令和5年6月27日)



街づくりの
方向性についての
意見交換

第2回

(令和5年10月予定)



街の将来像の検討
(街歩き等)

第3回

(令和5年12月予定)

街づくり
実現化手法
の検討

次回

45

令和5年度の街づくり懇談会の進め方のイメージになります。

本日の第1回懇談会で「街づくりの方向性」についての意見交換をさせていただきました。

次回、第2回は10月ごろ予定しております。

第2回は、「街の将来像の検討」ということで、街歩きなどを行い、街のポイントを確認していただき、意見交換を行う予定でしたが、本日いただいた多くのご意見を整理して、次回どのような形で行うのが良いかを検討して開催したいと思います。

開催内容については、次回の「街づくり通信」でお知らせいたします。

本日参加して頂いた皆さんには、是非次回も参加をしていただき、ご意見を頂きたいと思っておりますので、ご検討をよろしくお願いいたします。

3回目は、12月に懇談会を行う予定となっております。

以上が今年度のスケジュールとなります。

閉会あいさつ

杉並区

都市整備部 市街地整備課

 課長 塚田 千賀子

46

(杉並区 課長挨拶)

意見交換のなかで、下高井戸らしさがたくさんある反面、課題や問題もあるという話が出ていました。

これからそれをどのように解決していくのか、だんだん紐解いていけたらと思います。疑問や質問もたくさんいただきましたので、それらを整理して次回の懇談会の内容を考え、皆さんの疑問にひとつずつ答えていきます。

区ができること、そして皆さんで街をつくっていくために「皆さんにできることは何か」ということも併せて一緒に考えて進めていきたいと思っていますので、よろしくお願いします。